

# F-35Bの岩国飛行場配備に係る 航空機騒音予測コンターについて

平成28年9月

防衛省

今回のF-35Bの岩国飛行場への配備により、航空機騒音が周辺地域に与える影響を把握するため、現在の岩国飛行場において運用されている航空機による航空機騒音予測コンターとF-35Bが配備された後の航空機騒音予測コンターを作成し比較しました。

## 1. 調査対象機種

- ① 岩国飛行場において、現在、運用されている航空機(FA-18C/D、EA-6B、AV-8B、KC-130、US-1、US-2、EP-3、OP-3、UP-3、U-36A、MCH-101等)
- ② ①の航空機騒音予測コンターに、今回のF-35Bの配備計画(FA-18C/Dの一部及びAV-8BがF-35Bへ機種更新)を反映

## 2. 飛行回数

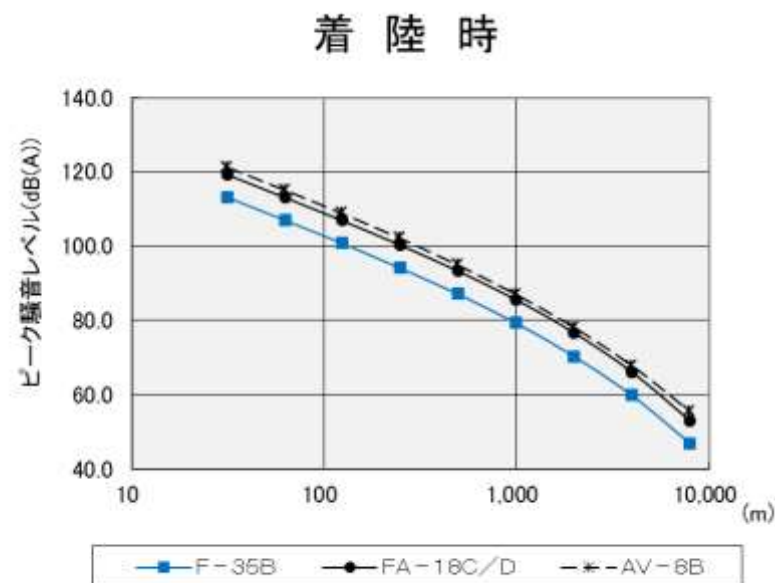
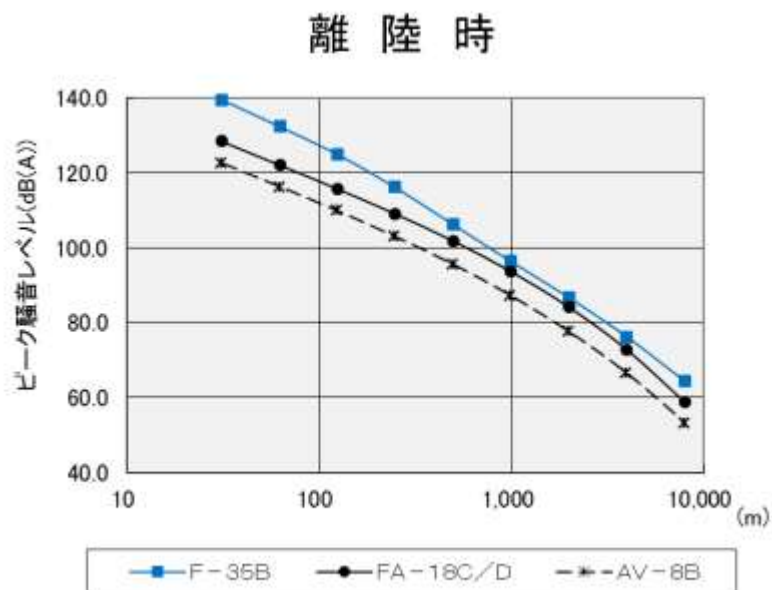
飛行回数については、岩国飛行場において、最終告示(平.4.3.27.)を行った際に基礎となった騒音度調査における飛行回数をベースとして、現在、岩国飛行場において運用されている配備機数の割合及び今回のF-35Bの配備計画によって増減する機数を考慮の上、1日の標準飛行回数を算出したところ、現在の岩国飛行場における標準飛行回数は328回、F-35B配備後の標準飛行回数は313回と推定しています。

### 3. 飛行経路

飛行経路については、平成18年に作成した空母艦載機移駐後の航空機騒音予測コンターの標準飛行経路と同様の経路としており、F-35Bの飛行経路は、更新の対象となるFA-18ホーネット及びAV-8Bハリアーと同じ飛行経路としています。

### 4. 機種毎の騒音データ

F-35B、FA-18ホーネット、AV-8Bハリアーの騒音値については、以下のデータを使用しています。



注1:FA-18C/Dは厚木飛行場で、AV-8Bは岩国飛行場で騒音度調査した際に得られた騒音値。

注2:F-35Bの騒音値については、米側から提供された騒音データを基に推定。

## 5. F-35B配備後と現在の騒音予測コンター

